

様式第 10

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
名取市		令和2年度～令和6年度	令和2年度～令和6年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現 状 (令和 年度)	目 標 (令和 年度) A	実 績 (令和 年度) B	実績 /目標
排出量	事業系 総排出量	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	t	t	%
	生活系 総排出量	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	kg/人	kg/人	%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t	%
再生利用量	直接資源化量	t	t	%
	総資源化量	t	t	%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	t	t	%

※目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成30年度)	目 標 (令和7年度) A	実 績 (令和7年度) B	実績 /目標
総人口	78,672	81,353	79,638	—
公共下水道	汚水衛生処理人口	71,366	75,860	98.3%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	864	780	0%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	3,777	3,595	99.0%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	4.8 %	4.4 %	75.0%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	2,665	1,118	134.3%

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

実績を考慮し、当初申請時においては設置基数を調整したものの、5箇年で135基の当初申請に対し69基の実績となった。

公共下水道の人口としては、総人口が目標数に達さなかった影響もあり目標数に及ばなかったが、普及率としては目標を達成することができている。また、農業集落排水事業を公共下水道事業に統合したため人口が0となっている。浄化槽については、新たに公共下水道を整備した区域で接続切り替えが行われたことから、浄化槽人口及び普及率が共に減となっているものと思慮される。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和11年度まで

本市の整備計画は個人設置型の合併処理浄化槽設置補助の為、各世帯への訪問等による必要基数の調整を行うとともに、普及活動を実施し、市内全域の公共用水域の水質保全と公衆衛生の改善を図り、環境衛生の向上に努める。

(都道府県知事の所見)

公共下水道については、総人口が計画当初の見込みを下回ったことから、目標値に達しなかったと示されている。集落排水施設については、公共下水道への転換により、処理人口が 0 人となっている。合併処理浄化槽については、浄化槽区域から公共下水道区域への切替えが進んだことにより、目標に達しなかったとされている。

目標達成に向けた方策としては、合併処理浄化槽設置補助制度の活用を促進するため、補助対象基数の調整や転換に向けた普及啓発活動を実施するとしている。これにより、合併処理浄化槽への転換が促進され、污水衛生処理の推進及び環境衛生の向上につながることが期待される。